

協議会等	姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
評価対象航路	坊勢航路

二次評価結果

○事業実施の適切性について、評価できる。

欠航は、適切な安全管理および機体の維持管理により、機械トラブル等を原因とするものは発生せず、悪天候等による安全確保を目的としたものに限られた。その結果、運航率は計画比99.1%となり、前年度と比較して欠航の発生は減少し、高い運航水準を維持した。

○目標と効果の達成状況について、評価できる。

旅客輸送量について、計画とほぼ同数であり、対前年度比では約1.4%の増加となっている。

一方で、SNSによる運航状況配信、観光関係者と連携したパンフレット等による積極的な情報発信を行ったほか、島内工事関係者の利用需要を見据えたダイヤ変更にも取り組んだ。また、継続的に販売している企画切符の売上枚数は増加しており、交流人口の増加に寄与するものと考えられる。

収支面については、燃料価格の高騰が続く厳しい状況下において、悪天候時に限って中型船を運航するなど、経費削減に努めた。また、使用船舶3隻について、リースから自己保有へ移行したことで、中長期的な視点に立った経費削減にも取り組んでいる。

○まとめ

全体を通して、評価できる。

本事業は生活航路としての役割を確実に果たしつつ、利用促進の面でも少しずつ成果を上げている。

一方で、今後は、一過性の工事関係需要に依存しない利用促進や、費用抑制、地域関係者と連携した交流人口の増加策による収益確保など、持続的な経営改善に向けて、事業者が主体となった取組が行われることを期待する。